

健康経営に関する数値指標 実績及び目標値

		項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 （目標値）	
■生活習慣予防								
	①	定期健診受診率《人間ドック含》（％）	92.5	91.6	94.7	97.3	100	
	②	精密検査受診率《レントゲン》（％）	8.3	11.1	80.0	100	100	
	③	特定保健指導実施率《40歳以上》（％） ※ 治療中、服薬中の者は除く	62.0	90.8	66.7	93.9	100	
	④	治療継続率（％） ハイリスク算出項目：①高血圧②脂質異常③肝機能障害④糖尿病	未実施			49.3	55.0	100
	⑤	生活習慣（％）	血圧 有所見率	13.4	17.9	14.1	17.1	10.5以下
			血糖 有所見率	8.3	10.1	9.7	6.6	7以下
			脂質 有所見率	50.6	55.3	39.8	34.1	30以下
			肝機能 有所見率	33.3	29.6	28.7	17.8	17以下
			適正体重（BMI25未満）	81.2	79.9	82.9	71.6	77以上
			朝食（毎日食べる）	38.5	40.0	51.8	61.6	62以上
			飲酒（飲まない または 1日1合未満）	52.6	53.6	54.0	55.9	57以上
			間食 （夕食後寝るまでの間食は週2回以下）	未実施			69.0	69以上
			非喫煙率	70.5	70.8	71.8	72.7	75以上
			運動習慣 （1回30分以上の運動を週1日以上）	23.7	26.5	25.0	25.4	27以上
	睡眠（仕事中に眠気がない）	未実施			68.1	66.1	68以上	
■メンタルヘルス対策								
	⑥	ストレスチェック受検率（％）	96.4	94.7	94.6	100	100	
	⑦	高ストレス者割合（％）	9.2	12.9	16.5	14.1	14以下	
	⑧	休職率（％）	私傷病休職者割合	0.4	0.4	0.7	0.8	0.7以下
■ワークライフバランス推進								
	⑨	平均月間所定外労働時間（時間）	1.8	5.9	11.1	11.6	11以下	
	⑩	長時間労働対策（％）	45Hを超える時間外の発生率	0.4	0.8	2.2	1.6	2以下
			過重労働者産業医面談実施率（一般職）	—	—	100	—	100
			過重労働者産業医面談実施率（管理職）	—	—	100	100	100
	⑪	年次有給休暇取得率（％）	—	37.4	37.7	43.7	51.8	60以上
	⑫	育児休業取得率（％）	正規社員にて算出	100	100	100	100	100
	⑬	男性育児休業取得率（％）	正規社員にて算出	23.1	33.3	48.3	53.8	75以上
■ヘルスリテラシー向上、パフォーマンス指標他								
	⑭	ヘルスリテラシー（％）	健康改善のためにどう行動するべきか判断できる者の回答率	未実施			85	85以上
	⑮	ワークエンゲージメント※1(点)	新職業性ストレス簡易調査票の2問の平均点(5段階、数値が高いほど良い)	未実施			2.7	2.8以上
	⑯	アブセンティーズム※2（％）	延所定労働日数に対する休職率 健保組合の傷病手当金給付日数より算出	未実施			0.60	0.6以下
	⑰	プレゼンティーズム※3（点）	WOSを構成する因子の中でプレゼンティーズムを測定するための5設問の平均点(5段階、数値が高いほど良い)	未実施			3.8	3.9以上
	⑮⑰の測定人数（人）		—	未実施			2,068	—
	⑮⑰の回答率（％）		—	未実施			100	—
	⑱	平均勤続年数（年）	—	15.3	14.4	16.5	15.4	16.5以上
	⑲	労働災害の発生頻度	度数率	2.53	3.72	4.30	5.21	5.0以下
	⑳	休業日数による災害重度	強度率	0.02	0.01	0.06	0.06	サービス業平均 0.04以下
	㉑	健康経営施策 満足度（％）	「満足＋まあ満足」の回答率	未実施			25	25以上
	㉒	健康経営目的 認知率（％）	「よく知っている＋知っている」の回答率	未実施			36	36以上

※1 ワークエンゲージメント:新職業性ストレス簡易調査票の「仕事をしていると活力がみなぎるように感じる」,「自分の仕事に誇りを感じる」2問の平均点 ,ストレスチェックの追加アンケートとして実施（5点満点高いほど良い）
※2 アブセンティーズム:（健保組合の傷病手当金給付延べ日数÷在籍者の延所定労働日数）×100で算出, 在籍者数：2,191名（2023年度末）及び2,347名（2024年6月末）
※3 プレゼンティーズム:『WORKPLACE OUTCOME SUITE（WOS）』を構成する因子の中で、「プレゼンティーズム」を測定するための5設問をストレスチェックの追加アンケートとして実施（5点満点高いほど良い）